

あいちの印刷

7

2012.7
No.488



富良野の夏まぢか

もくじ

巻頭言 「この時代を生きる仲間へ」 ～一人一人が主役～／副理事長 鈴木 正……	11
中部地区印刷協議会 平成24年度上期会議(三重県会議)開催 ………	12
全印工連 平成24年度事業計画 ……………	14
故西川一男氏に叙位 ……………	16
名古屋而立会例会 ……………	17
身近な催し物のお知らせ ……………	17
全印工連からの最新情報 ……………	18
株光文堂 drupa2012 視察レポート ……………	19
「労働衛生協議会」設置たて／「積算資料 印刷料金」 刊行にあたり印刷物制作費の見積りに関する調査 実施協力をお願い／drupa2012の話題 ／事務局だより ……………	22

巻頭言

「この時代を生きる仲間へ」 ～一人一人が主役～

副理事長 鈴木 正

「オギャア」と生まれた日から赤ちゃん役が始まり、小学生、中学生、高校生、大学生、就職して社会人となり、恋をして結婚をして親となり、年寄りになり…。道に違いはあれど誰もがそれぞれの道を作り、作られるのが人生です。

性善説も性悪説も同じようなものだと思う時があるんです。所謂、善人も悪人もこの長い地球の歴史、各国における文化の違いから思えばその差は如何程のものでしょうか。「近頃の若い者は…」言ってる貴方が通った道です。「スローで口やかましい年寄り…」貴方がいずれ通る道です。偉人も凡人も五十歩百歩です。しかしながら、それぞれが果たすべき役割をどのように演じ切ることが出来たか？

「人生ドラマ論」と唱えた先人がいます。お母さんのおなかにいる時からドラマは始まるのです。学生の本分は勉強ですが、それだけではないことを皆さんは、よくご存知です。夫々の時代の役柄には成長の為の秘密がたくさんあり、それは立場を理解して頑張った者だけが知る権利を得るのです。

今、我々を取り巻く環境は「考える者」「やる気のある者」「行動するもの」にとって「チャンス！」だと思えます。印刷組合はそんな

な気持ちを持ち努力し、学ぶ仲間達に指針となるべき情報を数多く提供して組合員の皆さんにとって役立つような組織・団体としてともに頑張っ

て参りたいと存じます。新入社員の貴方！君の新鮮な目線や発想は新しいものを作る最高の人材です。中堅、ベテランの貴方！経験は会社の宝であり、時に弊害でもあります。幹部の貴方！昨日までの貴方のままでいいのでしょうか？この文章を書きながら自分自身と同じことを問い掛けてみました。30点くらいはあるかも知れませんか？いやいやどう見てもそれ以下だ！私を知る多くの皆さんの声が押し寄せて来ました（汗）反省とともに、誰でも主役になれると信じてこの時代を生き抜き、演じ切り、そのラストシーンまで一緒に頑張っ

ていきましょう。最後に…組合には情報や材料はたくさんあります。皆さんにお願いをすることもありますが、結果として組合員の皆様にとってお役に立つことをお願いするのであることをご理解頂くとともに、その情報や材料を積極的に活用して頂き、会社・社員にとって有用な、有益なものにして戴きたいと心から願い巻頭言とさせていただきます。

多様化するニーズに応じて

オフセットインキ Advanced PREMIER ニューアドバンプレミア	収縮プロセスインキ Fusion G フュージョンG	カセット用UVインキ Dai CURE ABILIO アビリオ
100%植物油型収縮インキ Naturalith 100 ナチュラルリス100	新世代エックソ Presarto プレサート	NEW 紙水ローラーパッケージ DIC水棒ECOパック 〔DIC水棒洗淨用ECO〕+〔DIC紙水乾燥用ECO〕

DICグラフィックス株式会社
■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15

巻頭言

「この時代を生きる仲間へ」 ～一人一人が主役～

副理事長 鈴木 正

「オギャア」と生まれた日から赤ちゃん役が始まり、小学生、中学生、高校生、大学生、就職して社会人となり、恋をして結婚をして親となり、年寄りになり…。道に違いはあれど誰もがそれぞれの道を作り、作られるのが人生です。

性善説も性悪説も同じようなものだと思う時があるんです。所謂、善人も悪人もこの長い地球の歴史、各国における文化の違いから思えばその差は如何程のものでしょうか。「近頃の若い者は…」言ってる貴方が通った道です。「スローで口やかましい年寄り…」貴方がいずれ通る道です。偉人も凡人も五十歩百歩です。しかしながら、それぞれが果たすべき役割をどのように演じ切ることが出来たか？

「人生ドラマ論」と唱えた先人がいます。お母さんのおなかにいる時からドラマは始まるのです。学生の本分は勉強ですが、それだけではないことを皆さんは、よくご存知です。夫々の時代の役柄には成長の為の秘密がたくさんあり、それは立場を理解して頑張った者だけが知る権利を得るのです。

今、我々を取り巻く環境は「考える者」「やる気のある者」「行動するもの」にとって「チャンス！」だと思えます。印刷組合はそんな

な気持ちを持ち努力し、学ぶ仲間達に指針となるべき情報を数多く提供して組合員の皆さんにとって役立つような組織・団体としてともに頑張っ

て参りたいと存じます。新入社員の貴方！君の新鮮な目線や発想は新しいものを作る最高の人材です。中堅、ベテランの貴方！経験は会社の宝であり、時に弊害でもあります。幹部の貴方！昨日までの貴方のままでいいのでしょうか？この文章を書きながら自分自身に同じことを問い掛けてみました。30点くらいはあるかも知れませんか？いやいやどう見てもそれ以下だ！私を知る多くの皆さんの声が押し寄せて来ました（汗）反省とともに、誰でも主役になれると信じてこの時代を生き抜き、演じ切り、そのラストシーンまで一緒に頑張っ

ていきましょう。最後に…組合には情報や材料はたくさんあります。皆さんにお願いをすることもありますが、結果として組合員の皆様にとってお役に立つことをお願いするのであることをご理解頂くとともに、その情報や材料を積極的に活用して頂き、会社・社員にとって有用な、有益なものにして戴きたいと心から願い巻頭言とさせていただきます。

多様化するニーズに応じて

オフセットインキ Advanced PREMIER ニューアドバンプレミア	収縮プロセスインキ Fusion G フュージョンG	カセット用UVインキ Dai CURE ABILIO アビリオ
100%植物油型収縮インキ Naturalith 100 ナチュラルリス100	新世代エックソ Presarto プレサート	NEW 紙水ローラーパッケージ DIC水棒ECOパック [DIC水棒洗淨用ECO] + [DIC紙水乾燥用ECO]

DICグラフィックス株式会社
■本社 〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル
■名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-15



中部地区印刷協議会全体会議

中部地区印刷協議会（四橋英児会長、以下・中部地区協）の平成24年度上期会議（三重県会議）が、6月15日三重県四日市市の四日市都ホテルにおいて開催されました。

上期会議は、全体会議（前半）、分科会（経営革新・マーケティング・環境・組織・共済、教育・労務、取引公正化、理事長会）、全体会議（後半）、交流会の4

部で構成され、全日本印刷工業組合連合会（以下、全印工連）から事業計画、実施事業の報告、各分科会では熱のこもった意見交換が行われました。

なお、愛知県印刷工業組合（以下、愛印工）からは、木野瀬吉孝理事長（来賓の全印工連副会長として出席）、細井俊男、鳥原久資、岡田邦義、鈴木正の4副理事長と加藤修専務理事はじめ9名の理事が出席しました。

■愛知、岐阜、三重、富山、石川各県から参加

上期会議の全体会議における司会は、中部地区協加藤事務局長（愛印工専務理事）が努めました。

冒頭、開催県を代表して三重県印刷工業組合水谷勝也理事長が開催挨拶を行いました。続いて、四橋会長が挨拶に立ち、出席者に謝意を表した後、地区協の開催に触れ、「年2回開かれる地区協ですが、その開催方法にはいろいろなお意見があると思います。地区協は、本末転倒にならないよう継続していくことが大事です。これからも、質実剛健を旨とし、大勢の皆さんに参加していただける地区協でありたいと願っています」と開催の意義を強調しました。また、全印工連の役員人事に触れ、「全印工連もこの春に役員が一新し、新会長に島村博之新会長が誕生しました。54歳と非常に若い方です。若いパワーで、私共を引っ張って行ってくれるものと確信しております」と期待を表明しました。

さらに、四橋会長は業界の状況に触れ、「私共の業界もいまだに大変厳しい状況が続いています。大阪の校正会社で発生した胆管がんの話に代表されるように暗い話題もでております。こうした時にこそ

大事なことは、常日頃申しあげていることですが、“入るを量りて出ざるを為す”、つまり、入ってくる収入に合わせて、支出を考えれば、絶対におかしなことにはなりません。こうした厳しい時代は、少し設備投資を控えめにするとか、借金を少しでも返すとか、バランスをとって健全な経営を心掛けていくことが大事だと思います。今日1日が有意義な会議となることを祈っております」。

続いて、木野瀬全印工連副会長が挨拶に立ち、午前中に行われた「“ゼロ”から始める見える化」セミナーに触れ、「今までいろいろな見える化セミナーを聞きましたが、見える化をやるまでの苦労話が、これだけ聞いたことはなかったのではないかと思います。私共も企画制作室、印刷、営業の各部署の社員が出席し聞かせていただきました。今、私共はMISを構築してようやくスタートしたところです。そのスタートの生みの苦しみを味わっているときに、丁度いい形でその話が聞けたことは本当に幸いでした」とした上で、具体的な点に触れ、「先ほど、四橋会長から“入るを量りて出ざるを為す”との言葉がありました。MISはまさしくこれに当てはまりま

す。入ってくる金、出ていく金、その中でどのようにやるか、ということと同時に、利益のない仕事はどのように利益を上げるか、あるいは、仕事を断るのか、いろいろなことを考えないととんでもないことになります。愛印工の前の理事長であった高井さんの会社ではすでにMISを始めてみえます。私共も、この苦しい時期に大枚うん千万円を掛けてシステムを創りました。これを私共だけで活用するのではなく、組合員の皆さんに提供しようと話をしております。システム開発費は無しで、指導はシステム会社が行います。そうしますと、10分の1ぐらいの金額でスタートでき、カスタマイズができます。具体的な点はこれから煮詰めていきますが、昨今、業界のためにという風潮が芽生えています。私共もこの風潮に併せ、システムの提供をさせていただきますので、遠慮なく利用していただきたいと思いません」との姿勢を明らかにしました。

さらに、木野瀬副会長は、「MISでもCSRでも、何でもやってやろうという姿勢がなければできません。我々は3年後、5年後を予測するのは大変難しいが、その中でも3年後、5年後をイメージして、そのイメージした形にしようと思わなかったら絶対にできません。やる気が大事になります。このことは組合の参加にもいえます。組合は、やる気のある組合員のための組合であると思います。やる気のない人を引っ張っていく、やる気のない人に何かを与えることはできません。私は、やる気のある人のための組合活動であり続けたいし、その方たちには、どのような情報も提供できます。また、そうした体制で進めていきたい」など、強調しました。

また、全印工連のCSRに触れ、「全印工連では、CSR委員会を立ち上げました。認定制度、ライセンスを与えるような形に持って行きたいという方針です。これはまだ我々自身も正確なところは見ておりません。しかし、これから我々の業界はCSRがメイン、キーになる、ということは確かですので、その方針がでたときには、きちんと応えたいと思えます」と述べました。最後に、「この地区協は、頭を使う地区協になることを期待しています」と締めくくりました。

全体会議前半は、議案審議から始まり、四橋会長が議長につき、(1)平成23年度収支決算、(2)平成24年度予算(案)を審議。加藤事務局長から説明が行われた後、一括審議され2議案とも拍手を持って承認されました。

次いで、全印工連事業概要説明に入り、生井義三



四橋中部地区協会長



木野瀬全印工連副会長

全印工連専務理事が行いました。(事業計画/基本方針、実施事業については別項参照)

休憩をはさみ、分科会・理事長会報告に移り、各委員会で活発な討議が行われました。

「経営革新・マーケティング分科会」は、出村明(石川県工組副理事長)委員長のもと11名が参加。愛印工組から細井俊男副理事長、鬼頭則夫、木村吉伸、伊藤公一、岡戸裕明の各理事が出席。

「環境分科会」は、土居弘人(三重県工組副理事長)委員長のもと8名が参加。愛印工組から鳥原久資副理事長が出席。

「組織・共済分科会」は、須垣貴雄(富山県工組理事)委員長のもと12名が参加。愛印工組から鈴木正副理事長、岩瀬清理事が出席。

「教育・労務分科会」は、松岡裕司(愛印工組理事)委員長のもと12名が参加。愛印工組から岡田邦義副理事長、酒井良輔、磯貝健の各理事が出席。

「取引公正化分科会」は、鈴木岳志(岐阜県工組理事)委員長のもと6名が参加。愛印工組から吉川正敏、森俊一郎理事が参加。

「理事長会」は、地区協会長以下、各県の理事長が参加。愛印工組から加藤修専務理事が出席。

休憩をはさみ、全体会議後半に移り、各分科会の委員長による分科会報告、永野博信石川県工組理事長による理事長会報告が行われました。その後、意見交換などが行われた、細井愛印工組副理事長の閉会の辞で、平成24年度上期会議(三重県会議)を終了しました。

交流会は、三浦義秀三重県工組専務理事の司会で始まり、四橋会長の「長時間お疲れ様でした」との労いの言葉に続き、塚本征也三重県工組前理事長に感謝状が贈呈されました。その後、木野瀬全印工連副会長の乾杯の発声で交流会に入り、情報交換と親睦の一時を過ごす中、東澤光明富山県工組理事長の中締めで終了しました。

全印工連 平成24年度 事業計画

産業ビジョンの策定、印刷関連業界のネットワーク構築と 連携強化、MUDコンペとセミナーの実施

■事業計画基本方針

中小印刷業界は印刷需要の冷え込みと資材の値上げというダブルパンチで、非常に厳しい経営を強いられている。このような厳しい経済環境の中、全印工連では、連合会の主要な機能である「連帯」「対外窓口」「共済」を存分に発揮できる体制を整え、各工組と連携しながら、やる気のある会社の発展のために役立つ連合会を目指して諸事業に取り組んでいく。それが当連合会の存在意義を高めることに繋がると確信している。

具体的には、産業戦略デザイン室では、来年（平成25年度）の全印工連フォーラムに向けて産業ビジョンの策定に着手する。印刷産業連携推進室は印刷関連業界全体のネットワーク構築と連携強化に向けた取り組み、MUD事業は第6回コンペの実施とセミナーを中心に事業展開をしていく。

通常委員会では、「経営羅針盤」の一層の浸透、マーケット創造の研究、環境対策の積極的な推進、労働関係法規への対応と啓発、組織運営、共済制度加入キャンペーンの展開、広報活動の強化、企業改革のための各種セミナーの開催と支援、全印工連特別ライセンスプログラム事業の拡充、技能五輪全国大会開催実現に向けた取り組み、新たに設置するCSR推進専門委員会では、CSR認定事業の構築に向けた事業展開を進める。さらに、官公需入札制度改善への取り組み、資機材問題への対応、事務局機能強化のための業務改善も推し進めていく。

なお、本年度は9月に北海道札幌市において、「北の大地から始まる、ソリューション・プロバイダーへの道」をキャッチフレーズに、「2012全日本印刷文化興北海道大会」を開催する。

－実施事業－

■産業成長戦略のデザイン

平成25年度全印工連フォーラムでの発表に向けて、産

業ビジョンの策定に着手し、組織構造改善事業、先進モデル研究事業、経営構造改善事業の諸事業を推進する。

(1)産業ビジョンの策定（発表：2013年9月全印工連フォーラム）、(2)組織構造改善事業、(3)先進モデル研究事業、(4)経営構造改善事業の策定（M&Aの研究）

■印刷関連産業との連携強化

印刷関連業界との連携強化を図り、将来の印刷関連業界全体の発展に向けた産業基盤の整備を進める。併せて、資機材情報などをはじめとする各種印刷関連情報の双方の受発信を促進することにより、全印工連の対外窓口機能としての役割を最大限発揮する。

(1)印刷関連業界全体のネットワーク構築と連携強化、(2)資機材情報や各種印刷関連情報の受発信、(3)各委員会との連携ならびに事業推進支援

■メディア・ユニバーサルデザイン活動の推進

今年度も引き続き「第6回MUDコンペティション」を実施し、組合内外へのMUDの周知・PRに努める。また、斬新なアイデアに溢れ社会への貢献が期待できる作品については、推進室が製品化の橋渡し役となりメーカーへの働きかけを行う。さらに、各地域で開催されるMUD行事に対しては、啓発パネルなどの貸し出しを行い、連携・協力体制を強化する。

(1)「第6回MUDコンペティション」の実施、(2)MUDセミナーの実施、(3)MUD作品の社会貢献・還元活動（製品化の橋渡し支援など）、(4)各地域におけるMUD活動との連携・協力、(5)MUDガイドライン改訂版作成の検討

■経営革新・マーケティング事業の研究

印刷産業を印刷物製造業から問題解決業（ソリューション・プロバイダー）へと変革するため、経営改善による利益創出と新市場創出の循環プロセス確立の基盤作りを行う。具体的な経営改善の方法としては、印刷産業経営羅針盤の浸透と研修用ツールを開発する。また、新

なぜ、人材派遣はモトヤ？

印刷関連業務のスタッフを
必要なときに必要な期間だけ
派遣します。

人材を探している企業と仕事を探している人材の出逢いのサイト

M-JOB-N@VI

<http://www.m-job-navi.com/>

モトヤ人材派遣部 名古屋 ☎(052)935-5315

モトヤ人材派遣部 大 阪 ☎(06)6261-1941

モトヤ人材派遣部 東 京 ☎(03)3523-8719

派遣事業許可番号 経 27-030254/総合事業許可番号 27-ユ - 030174

それは、印刷関連業務に特化した
人材派遣・紹介を展開しているのは、モトヤだけだから...

■派遣職種 ■

- コピーライター ● デザイナー ● WEBデザイナー
- DTPオペレーター ● スキャナーオペレーター ● CTPオペレーター
- 印刷オペレーター ● 校正 ● 印刷進行管理者 など全般

業界で一番お客様思考に立った印刷関連総合会社を目指す

株式会社 モトヤ

<http://www.motoya.co.jp/>

名古屋 〒461-0035名古屋 市東区黒門町 128 ☎(052)935-5315

大 阪 〒542-0081大阪市中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931

東 京 〒104-0032東京都中央区八丁堀 4-5-5 ☎(03)3523-8711

横浜・埼玉・千葉・京都・神戸・姫路・福岡

市場創出への取り組みとしては、国内外のソリューション・プロバイダーの事例研究を行い、各企業が戦略立案するための支援を行う。

(1)経営イノベーションの研究推進／印刷産業経営羅針盤を中心とした経営強化の推進、(2)マーケット創造（新市場創造）の研究／①国内外のソリューション・プロバイダーの事例研究、②プリントブームの発行協力、(3)業界動向調査の推進／印刷業経営動向実態調査の検討および実施

■環境・労務対策の推進

日印産連との連携を強化し、省エネルギー対策などの環境情報の提供、GP（グリーンプリンティング）認定制度の普及推進、環境関連法令の研究と対応および関連情報の収集・提供を進めるとともに、複雑化・多様化する環境ニーズへの対応を図るため、インターネットを活用したISO14001取得支援事業「環境経営印刷ネットワーク」の拡充、「必ず儲かる環境対策セミナー」をはじめとする環境セミナーの開催支援など、環境改善に向けた諸事業を展開していく。労務関連では、労働関係法令の研究と対応および関連情報の収集・提供を行う。

(1)GP（グリーンプリンティング）認定制度の普及推進、(2)環境マネジメントシステムの研究と推進－ISO14001取得支援事業の推進、(3)環境関連情報の収集・提供－①環境セミナーの企画、開催支援、②日印産連環境情報の考察・分析・提供、③日印産連環境優良工場表彰の推進協力、④環境関連法令の施行・改正情報の提供、(4)地球温暖化対策の情報収集・提供－①カーボンオフセットの研究および情報提供、②カーボンフットプリントの研究および情報提供、③省エネルギー対策などの情報提供、(5)労働関係法令の研究と対応

■組織活性化の推進

魅力ある組合づくりを目指し、各種事業活動への協力を行う。併せて、生命共済・総合設備共済・医療共済を中心とした各共済制度の積極的な加入促進を行う。また、全印工連と各工組、組合員企業を結ぶホームページ、メールマガジンの運用を強化し、即時性の高い情報の提供を行う。機関誌「日本の印刷」については、制作に係



事業計画を報告する生井全印工連専務理事

わる検討を行う。その他、組織関連情報の収集・提供を行い、全日本印刷産業政治連盟と提携して政策課題への対応を図る。

(1)組織運営－①組合加入促進に関する情報収集・提供、②組合員台帳調査の実施、③全国事務局研修会の開催、(2)共済制度の推進－①生命共済事業の推進（「全印工連共済センター」業務の受託および運営協力）、②経退功共済事業の運営、③災害補償・総合設備・医療共済事業の推進、④各共済制度への加入促進キャンペーンの展開、(3)広報事業－①機関誌「日本の印刷」の制作および見直しの実施、②メールマガジン配信システムの整備、運用、③SNSなどの活用および導入の検討

■教育・研修事業の推進

前委員会の継承事業として、本年度も“見える化セミナー”による啓発活動を通じて、収益改善を目的とした企業改革に向けた有益な情報提供を行っていく。また、制度教育事業の改善・改革については、各工組の協力を得て制度教育事業を実施しつつ、実施段階で現行の制度教育の問題点を洗い出し、制度教育の改善・改革に結び付けていくものとする。さらに、「全印工連特別ライセンスプログラム」事業に関しては、参加企業を対象にテクニカルセミナーを企画開催し、同時に、セミナーに参加することが難しい地方の参加企業に対してWeb視聴を実施することにより、本事業の満足度を高めるとともに、

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

株式会社 AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号

東京営業本部 TEL:0521-220-5511 FAX:0521-220-5522
LED事業部 TEL:0521-220-5518 FAX:0521-220-5526
<http://www.axuas.jp> / E-mail: info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。
心よりお待ち申し上げます。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。

ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。
心よりお待ち申し上げます。



愛知県の大村秀章知事(右)から西川輝雄氏へ伝達

故西川一男氏に叙位

去る3月14日に逝去された西川一男氏(西川コミュニケーションズ(株)元会長、愛知県印刷工業組合元理事長、同顧問)に、叙位(位階・従六位)が授与された。これは故西川氏が生前、愛知県産業振興のために尽力した功績が顕著なことが評価されたもの。

叙位伝達式は、5月25日午後1時より、愛知県庁本庁舎3階の知事室で行われ、愛知県の大村秀章知事から、遺族代表の西川輝男氏(西川コミュニケーションズ(株)社長)に叙位が伝達された。

契約更新・次期参加募集に向けての体制を整えるべく諸活動を展開する。

また、関連団体と連携し「技能五輪全国大会(オフセット印刷職種)」の開催に向けて活動する。さらに、「印刷産業連携推進室」との連携事業として、“印刷Webポータル研究会”(仮称)を設置し、研究、関連情報の収集、企業視察および報告会を行うその他、各工組とも連携を取りながら本委員会の事業推進および事業の周知を行うものとする。

(1)企業改革のための情報の提供—①「“見える化”から始める収益改善」セミナーの企画開催、②「ゼロから始める“見える化”」セミナーの企画開催、③“印刷ホワイトカラー”の生産性向上に関する研究、(2)制度教育

事業の実施および改善・改革—①印刷営業講座・印刷営業士認定試験の実施、②管理印刷営業講座・管理印刷営業士認定試験の実施、③営業士、管理印刷営業士フォローアップ教育の推進、(3)全印工連特別ライセンスプログラム事業の推進—①テクニカルセミナーの企画開催およびWeb視聴の実施、②「特別ライセンスプログラム」認定制度事業の企画・実施、③第1期参加企業の契約更新および第3期参加募集に向けての体制整備、(4)技能五輪全国大会の開催に向けた活動推進—関連団体との連携による技能五輪全国大会の開催、(5)「印刷産業連携推進室」との連携—“印刷Webポータル研究会”(仮称)の設置および研究、企業視察、報告会の実施、(6)各種教育研修の企画推進

■CSR事業の推進

現代社会において企業が永続的に成長するためには、環境、安全、福祉など社会から求められるさまざまな要請に応えなければならない。特に、地域密着型の中小印刷業界においては、CSRへの取り組みは避けて通れないものであり、今後の企業の経営戦略そのものであるといえる。この観点から本年度は、企業規模・業態を問わずに取り組みやすい中小印刷企業版のCSR規格を策定し、認定制度を立ち上げるとともに、その周知啓発を図り、地域社会に貢献する企業の成長・発展を支援する。

(2)CSRの普及・啓発の推進—①入門編テキストの制作、②プロモーションビデオの制作、(2)CSR認定事業の推進—①CSR認定制度の設計(評点、評価方法の確定、申請の流れ、申請料、更新など)、②CSR認定制度の推進(認定募集案内、説明会の開催など)、(3)パブリシティ活動(環境、CSR系雑誌)、(4)社会貢献事業の研究

■資機材問題への対応

用紙価格など動向調査の実施などにより、資機材情報の収集と提供に努める。また、資機材供給の安定化に向け、関連団体と連携しながら機動的に適宜対応を図る。

(1)用紙価格など動向調査の実施、(2)資機材供給安定化へ向けての対応

■協議会の開催

(1)地区印刷協議会、(2)官公需対策全国協議会、(3)全国印刷メディア協議会、(4)全国青年印刷人協議会

東京都印刷技能検定使用機種

OLIVER 266EPZ

菊半裁2色両面兼用印刷機

RSP後加工システム搭載可能

- 省スペースながら高度な省力化装備を標準装備することで低価格志向を追究
- 正菊半裁からA4サイズまでの印刷が可能

こちら大好評! オリバーSO/SOPシリーズ
菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

It's COMPACT!

株式会社 桜井クラフティクスシステムズ
TEL: 03-3643-1131 (FD) FAX: 03-3643-1138

中野営業所
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL: 05751-35-2551 (FD) FAX: 05751-35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪市淀川区東中津3-31
TEL: 06-6308-6651 (FD) FAX: 06-6308-6679

九州営業所
〒810-0051 福岡市中央区天神5-5-8
TEL: 092-741-2672 (FD) FAX: 092-741-2670

岐阜工場
〒501-3713 岐阜県高津市3951
TEL: 05751-33-1260 (FD) FAX: 05751-33-3146

名古屋而立会例会
高井昭弘愛印工前理事長が講演



講演する高井昭弘氏

夢のある会社に!
『利益計画検討表』
作成の重要性を強調

名古屋而立会（箕浦靖夫会長）は、5月21日に5月例会を開催した。例会の冒頭、箕浦会長が挨拶に立ち、「愛印工報告を行います」と前置きして、5月18日の愛知県印刷工業組合の総代会で、理事長が高井昭弘氏から木野瀬吉孝氏に交代したことを報告。また、「多くの方に入会していただきたいので、入会しやすい環境をつくりたいとの思いから、入会希望の意志のある方を前提に、例会を体験していただくという新しい試みを実施しています」と報告し、例会参加者を紹介した。

次に5月例会に言及し、講師として愛印工の高井前理事長を迎えた理由を次のように述べた。「高井前理事長には4年前にも講演していただいています。その際も現在も、売上高経常利益率5%を目標とするよう主張されています。全印工連の『印刷産業経営羅針盤』にもその主張が盛り込まれています。私はその内容を拝見して、非常に感銘を受け、講師に高井前理事長をお迎えしました。」

この後、高井前理事長（プリ・テック株式会社会長／半田中央印刷株式会社会長／トーヨー印刷株式会社社長）が「夢のある会社に」をテーマに講演した。

高井前理事長は経営者の立場から、“社長”を「自分の夢を自分の意志と責任で追い求めることのできる最高の立場」と定義付けし、“若棟梁”の位置にあれば、「自分が属する集団のために何が本当に必要なのか。何が一番重要なのかを考え、問題解決のために一生懸命努力すれば、人は必ず好意を持ってくれるし、ついてきてくれる」と若手経営者の多い而立会会員に説いた。

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考	
7月24日(火) 13:00～ 17:00	事業・行事 ところ	アドビテクニカルセミナー ウインクあいち 参加費:購入社(ライセンス購入人数まで無料) 未購入社 5,000円/1人 定員:90名 申込期日:7月13日(金)
8月8日(水) 18:30～ 20:30	事業・行事 ところ	印刷産業ビジョン SMATRIX 2020 解説セミナー ウインクあいち 参加費:1人2,000円 定員:100名 申込期日:※7月27日(金)
8月28日(火) 15:00～ 17:00	事業・行事 ところ	アドビ契約更新 説明会 名古屋ダイバिल्テック ※対象:第一期契約者案内 近日発信予定 (FAX)
9月24日(月) ～ 9月27日(木)	事業・行事 ところ	印刷業界の新社員研修会 MEDIAGE Aichi及びウインクあいち ※開催職務又は教科の内容及び実施日程は組合ホームページでご確認ください。http://www.ai-in-ko.or.jp ※1講座毎のお申し込みも受け付けております。 ※新社員向けの内容ですがどなた様でも受付させていただきます。
9月30日(日)	事業・行事 ところ	従業員・家族合同レクリエーション大会 掛川花園・掛川城・城下町ウォーキング 参加費:大人3,500円(中学生以上) 子供2,500円 定員:240名(支部でのパス貸切1台につき105,000円)
10月16日(火) 10:00～ 10月21日(日) 15:00～	事業・行事 ところ	第2回ポスターグランプリ 入賞・入選作品展 愛知県美術館ギャラリー 展示室A [愛知県芸術文化センター8階] 表彰日:10月21日(日) 10:30から(受付10:00) 申込期日:参加費振込期日も同じです ※入場無料 ※最終日は15時まで

さらに「企業は社会的存在ですから、外部に対しても堂々と説明できるもの、つまり何らかの大義が必要です。企業の目的が社会のためになると信じられる時、組織は最大の力を発揮することができます」と経営理念の重要性を指摘。また、目的としての経営理念と同時に目的達成のための目標(利益目標、加工高目標、売上目標、将来の中期・長期目標、品質目標、環境目標など)が必要と述べた上で、「利益目標作成のためには、売上ではなく利益をまず設定する『利益計画検討表』を必ず作成しなければなりません」と強調。そして利益計画検討表の例を示しながら、売上高経常利益率5%を達成するための、正しい価格設定、固定費の削減、変動費の削減などを説明した。

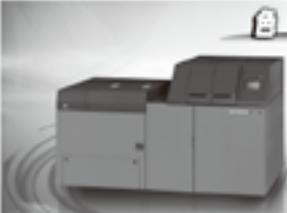


コニカミノルタに全てお任せください。

大評判

Giving Shape to Ideas

自校正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Folbaird AQUA

環境対応フレート

ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS C7000



BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部支店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

■全印工連からの 最新情報

「消費電力削減 アクションプラン」の提案

全日本印刷工業組合連合会・消費電力削減対策特別委員会から、「消費電力削減アクションプラン」の提案がありましたので、以下報告してみます。(右欄参照)

2012全日本印刷文化典 北海道大会

全印工連と北海道工組は、「2012全日本印刷文化典北海道大会」を9月21、22の両日札幌市で開催するのに併せ、5月24日東京のアジュール竹芝において記者会見を開き、その概要を発表しました。

会見には、全印工連から島村博之会長、生井義三専務理事、北海道工組から岡部康彦理事長、伊藤克義専務理事が出席。島村会長は「会長となって初めての全国大会となる。印刷文化典のあるべき姿だと感じたのが、以前に行なわれた北海道大会に参加したときであった。同じ北海道での開催にわくわくしている。景気が右肩下がりの中でも、崇高な精神を持ちながら業界へ情報発信を行ないたい。フォーラムでは、CSRをテーマに行なう他、全印工連メッセージでは、委員会で行なっている業務内容を詳しく説明しようと考えている」と挨拶。また、岡部理事長は「北海道では15年ぶりの文化典となる。記念講演では夕張市長の鈴木直道氏に講演をお願いしている。おもしろくて勉強になる話があると期待している」と述べた。

日程／9月21日(金) 14:00 記念式典・全印工連メッセージ、16:30 記念講演「やらなければゼロ!新たな可能性を創造するまちへ!」講師:夕張市長鈴木直道氏、18:30 記念パーティー、9月22日(土)全印工連フォーラム

場所／札幌パークホテル

全印工連「消費電力削減アクションプラン」の提案

《アクションプラン》

1. 就業時間を変更して、早番および遅番を設け、常に1/2の台数の稼働とする。
効果:常時動力消費電力が50%となる。
(一例)早番7:00~14:00、遅番14:00~21:00
2. 土・日曜日を活用して平日を休業とする。
効果:動力消費電力が分散する。
3. 昼休みを平日13:00~16:00の時間の中で1時間とする。その間の空調は、具体的な削減方法の「空調について」を参照のこと。
効果:動力消費電力が33%削減となる。
4. 交代制を採用している場合は、13:00~16:00の時間帯において1時間、印刷機械を完全にストップする。その間の空調は、具体的な削減方法の「空調について」を参照のこと。
効果:交代制の場合どこかで停止しないと動力消費電力の削減は出来ない。
5. 組合員同士で輪番制を採る(6社を1単位として、各企業と調整して順番に6日に1日は休日とする)。
6. 複数の機械を所有している企業は、ピーク時前後に機械を順番に止める。
※単純に考えると、例えば、4台所有している企業は、12:00~16:00の間、時間をずらして1台ずつ休止することで25%削減となる。
7. 9:00~20:00はUV機を稼働しない。
UV機は一般の機械に比べて総動力が大きいため、9:00~20:00まではできる限り稼働せず、夜間に稼働する。
(必須項目です)
8. 冷房設定温度は、工場の室温26°C、事務所の室温28°Cとする。なお、運転方法などは、具体的な削減方法の「空調について」を参照のこと。
※空気を攪拌するサーキュレータを導入すると効果的である。

《具体的な削減方法》

1. 空調について(複数の空調設備を有している場合)(必須項目です)
 - ①一斉に電源を入れない(20~30分程度間隔をあける)
※空調を一斉にONにすると消費電力が一気に上昇します。30分程度ずらしながら順番に電源を入れることで、消費電力の平準化がはかれます。
 - ②設定温度を1時間置きに変える(2台の場合、例えば1台目は28°C、2台目は27°Cとし、1時間置きに1台目27°C、2代目は28°Cというように、交互に設定温度を変える)
 - ③昼休みなど、空調をSTOPするより、その時間内は設定温度を30°Cに上げて連続運転した方が、一時的な消費電力の上昇を防ぐことができます。
2. 印刷機械(必須項目です)
 - ①複数の印刷機械を有している場合、一斉に立ち上げない(20~30分程度間隔をあける)
※印刷機械を一斉にスタートさせると消費電力が一気に上昇します。30分程度ずらしながら順番に稼働することで、消費電力の平準化がはかれます。
 - ②回転速度を下げる
3. コンプレッサー、エアポンプ(必須項目です)
 - ①圧力設定を下げる。
※下げる際は低圧力の影響による着脱などに注意してください。
 - ②コンプレッサーにつながる、エアシリンダー、弁、ホース等を点検し、破損していたら修理、交換してエア漏れを防ぐ。
 - ③空気フィルターの清掃を頻繁にし、必要に応じて交換する。
4. 契約電力の引き下げ
 - ①デマンド監視装置を導入し、契約電力の引き下げを行う。
※契約電力を超えないように注意・自製が働き節電意識が喚起され、定着する効果があり、節電の有効な手段となります。
5. その他の会社全体で取り組む削減方法
 - ①照明を1/3以上消灯する(使用していないエリアは消灯を徹底する)。
 - ②白熱灯を電球形蛍光灯ランプやLED照明に交換する。
 - ③夏季休業期間を延長する。
 - ④NO残業デーを設ける。
 - ⑤PCの電源を落とす。
※1時間以上席を離れる場合は、PCの電源を落とす。
 - ⑥エレベータの使用を制限する。
 - ⑦電子ポット、ウォータサーバーの使用を控える。
 - ⑧使用していない電化製品のコンセントは抜いておく。
 - ⑨従業員に対して、家庭での節電の必要性、方法について啓発する。



(株)光文堂 drupa2012 視察レポート

■世界最大規模の印刷産業展

(株)光文堂では、5月4日～6日の3日間「drupa2012」の視察を行いましたので、「drupa視察レポート」をお届けします。

4年に一度開催されるdrupaは、世界4大機材展の一つに数えられています。4大機材展とは、drupa（ドイツ）、IPEX（イギリス）、PRINT（アメリカ）、IGAS（日本）で行われている機材展のことですが、出展社数、参加国数、展示面積、来場者数など、No.1を誇るのはいよいよdrupaです。世界の印刷関連機器・資材メーカーの技術・製品開発などは、drupaに合わせたスケジュールを組んでいますので、drupaから発信されてきた情報は、世界の印刷メディア産業全体に、最も経済的、技術的影響を及ぼします。いわば、地球規模の印刷産業イベントといえます。

第1回開催（1951年）から数えて15回目を迎えました今回は、世界51カ国からおよそ1,766社が出展し、会場の全19ホールを使用、展示スペースは17万㎡弱です。過去最大規模となった前回のdrupa2008に次ぐ規模となり、来場者数は35万人でした。

出展社は、ドイツ577社、中国239社、イタリア154社、日本35社となっています。日本からの出展は、海外子会社からの出展企業は含まれていませんが、実際は60社以上あり、出展面積でいえば、ドイツに次ぐ規模であったかと思われます。

■drupa2012のキーワード

・B2 Digital drupa/枚葉紙タイプのデジタル印刷機は、これまでA3サイズがメインでしたが、今回はB2サイズがメイン。

・LANDA drupa/今回最も注目されたのは、Indigo社の創業者ベニー・ランダ氏が率いるランダ・コーポレーションの「ナノグラフィ」技術。

・インクジェットdrupa/商業、出版、パッケージ（シール・ラベル・厚紙）用などの分野に対応する機種。

・パッケージdrupa/アナログ、デジタルどちらも軟包装、紙器、シール・ラベルなどパッケージ分野に対応する機種。

・液体トナーdrupa/液体トナーを使ったデジタル印刷機。

■B2サイズと新技術

B2サイズデジタル印刷機を出展した

のは、HP、リョービ・ミヤコシ、コニカ、小森、大日本スクリーン、富士フイルムなどです。

今回のdrupaで、唯一の新技術として発表されたのが、ナノインクを使ったインクジェットプリンティング技術（Landa Corporation Nanographic Printing Press）です。この技術は、インクジェットとオフセットを併せ持った技術で、網点の厚みが500nmというオフセット印刷の半分の厚さで、使用インクを少なく、しかも色域が広い、摩擦耐性も高いという、いいことづくめの技術です。

枚葉、輪転各3機種を発表し、最高速度の機種は片面13,000枚/時、両面6,500枚、200m/分。

販売は、来年以降ということでした。小森、ハイデル、マンローランドの3社と提携をしています。

オフセット印刷機メーカーによるデジタル印刷機の開発は、小森、リョービ、ミヤコシ、ハイデルなどがあり、小森のデジタル印刷機は、コニカミノルタのOEM出展。ハイデルのデジタル印刷機は、LinoprintブランドでリコーのOEM出展。リョービのデジタル印刷機は、ミヤコシとの共同開発でミヤコシブースに出展していました。

■電子写真式デジタル印刷機

電子写真式デジタル印刷機の出展は、HP、Kodak、XEIKON、コニカミノルタ、XEROX、ハイデルベルグ、ミヤコシなどがあり、印刷方式は、レーザー枚葉、輪転とも、粉体トナータイプ/液体トナータイプがあります。

液体トナーでは、粒径が1ミクロン程度の超微細トナーが実用化されてい

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。

私たち東洋インキグループは、世界にひろがる「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社
www.toyoink.co.jp
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市長区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451



富士フィルムの枚葉デジタル機「Jet Press 720」、
輪転用と紙器向けも発表

ます。粒径が小さいことで、液体トナーを使った印刷物のトナー層厚（印刷媒体の上に乗っているトナーの厚み）は、オフセット印刷の印刷物の仕上がりに近く感じられます。文字の品質に関しても粒径の小さい液体トナーで、1ポイントの文字サイズまでシャープに再現することが可能です。

技術的には、液体トナーのコントロールは難しく、いいことばかりではないようで、開発に時間がかかっている感じでした。今回、各メーカーが液体トナーを発表してくると思っておりましたが、あまり騒がれなかった、というのが印象です。現状では、液体トナーの方がコントロールでき、機械も頑丈で安定しており安心感があります。

ミヤコシが持つ電子写真技術における超微粒子液体トナーは、トナー層の薄膜化が可能で、光沢を失うことなく印刷ができるほか、折り加工時の割れの問題も軽減できるというメリットがあります。さらに、定着までに必要なエネルギーが少ないこと、圧胴式の「グリッパー用紙搬送システム」採用による、オフセット印刷同様の見当精度が高速化に大きく寄与しています。

HPの液体インクは、HPエレクトロインクと呼ばれます。このテクノロジーは、1ミクロンという小さな印刷粒子の位置を電氣的に制御することにより、オフセット品質のデジタル印刷



小森コーポレーションとコニカミノルタの共同開発の
インクジェット印刷機

を実現しています。1ミクロンという、ドライトナー技術で対応可能なサイズよりも小さいサイズになります。この微小サイズの粒子により、従来のオフセット印刷と同等レベルの高解像度、高光沢、鮮明な画像輪郭、極薄の画像レイヤーが生み出されます。

■シール・ラベルデジタル印刷機

XEIKONは、XEIKON3030Plus、デジタルラベル印刷機XEIKON3000シリーズの新モデルを発表しました。

幅330mmのXEIKON3030Plusは、LEDアレイ、最高の印刷品質を提供するためにスポットあたり4ビットで、1,200dpiの解像度を組み合わせたイメージング技術を採用しています。実質的に無制限の可変長リピートの長さと一緒に組み合わせ、フル回転式印刷技術を取り入れ、印刷速度はラベルのサイズや使用色数によって影響されません。また、共押出フィルム、BOPP、PVC及びPET、板紙、40～350gsmの用紙、透明・不透明のPETフィルムを含むさまざまな素材に対応しています。

XEIKONは、世界的に有数のデジタル印刷機メーカーで、光文堂はシール・ラベルデジタル印刷機「XEIKON3000」シリーズの正規販売代理店になっています。

エプソンは、高品質なラベル印刷が可能で、7色のホワイトインクを用いたデジタルラベルプレス



ランダの新たなインクジェットプリンティング技術

「SurePressL-4033AW」を発表しました。

■検査装置

Advanced Vision Technology (AVT) 社は、世界的に有数の検査装置メーカーです。光文堂とは重要なパートナーになっています（日本における正規販売代理店）。ラベル検査装置のチェックマスターSLやインクコントロールシステムのマイクロカラーマーカーキュリーなどを製造しています。HPのデジタル印刷機に、インラインで検査装置を接続しデモを行っていました。

■キーワードについて

冒頭にキーワードを掲げました。その具体的な点について触れてみます。

B2 Digital drupa/B2サイズのデジタル印刷機の登場は、確実にオフセット印刷のエリアにデジタル印刷機が入り込んできたこととなります。A3サイズの時には、コピー機とあまり変わらなかったイメージが、B2サイズになったことで、現在の仕事もこなすことが可能になり、デジタル印刷機を導入する動機が増えました。発表程度でしたら今後1年以内に販売が開始され、世界中でデジタル印刷機の導入が進むと考えられます。一方、オフセット印刷機を展示しているブースの多くで一抔の寂しさを感じました。今後、さらにオフセット印刷機の販売が厳しくなる

**PP貼りサービス始めました
PP貼りだけの仕事やります**

制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制

- ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
- ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます
- ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)

幸田工場 額田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463

印刷機械
製本機械
製本機械
DTP関連機
印刷諸材料
データ制作
オンデマンド印刷
データ出力

お役に立てる
印刷関連
総合商社

株式会社 **盛功社**

〒481-0014 名古屋市長区種木町3丁目17番地
TEL 052-632-5611 FAX 052-631-0280
http://sekouha-net.jp/

120余年の伝統に
培われた信頼と
先進の
テクノロジー



枚葉印刷機による高付加価値をアピールしたリコービ



XEIKONの新型デジタル印刷機
「XEIKON3000シリーズ」



HPのデジタル印刷機にインラインで検査装置を接続
「AVT検査装置」

のではないかとおぼろしく入られません
でした。

LANDA drupa/LANDAは完全に
drupaの中心にいました。新技術を発表
し、メインの印刷機メーカーとの提携
発表などをdrupaに合わせて行い、いつ
販売するのか価格はいくらなのか、何
も発表のない状態であっても、次の時
代の先導役に見えました。ナノインク
を開発したことによって、液体トナー
と粉体トナーどちらという意味がなくな
ったような感じです。液体トナーで
さえ1μmで、粉体であればもっと大
きくなります。500nmという通常より
小さいトナーが、オフセット印刷より
綺麗な網点を表現しているのは画期的
ですが、実際の印刷現場でのデモはな
かったことで、どこまで開発されてい
るかは不明でした。

インクジェットdrupa/インクジェ
ットデジタル印刷は、当たり前という
感じです。商業印刷、出版印刷、パッ
ッケージ（シール・ラベル、厚紙）など、
多種多様な対応ができ、前回がインク
ジェットdrupaといわれましたが、今回
も新製品などの発表からすると、同じ
冠を付けてもいいかもしれません。

パッケージdrupa/軟包装、紙器、
シール・ラベル、パッケージ分野は、
商業印刷と違い刷り物が利益になりま
す。この分野には、各メーカー全てが
力を入れてきています。中でもHPが、

この分野を徹底的に攻めようとしてい
るのは、展示の行かない方で感じ取れま
した。HPIは、各メーカーに機械を設
置し、どこでもHPの出力機がみられる状
況を作っていました。

液体トナーdrupa/液体トナーは、品
質を上げるためにはどうしても必要な
技術ですが、今回のLANDAの登場で、
液体トナーをコントロールする技術を持
っている会社が優位だったのか、あ
まり騒がれていない気がしました。

■まとめ

新技術、新製品の動向を知るだけで
なく、市場ニーズがどのようになって
いくのかわかる上でも、国際展示会に
参加する意義は大きく、国内では見る
ことができない反応があります。

今回のdrupaは、前回の進化系が大
半であり、新技術としてはLANDAの
ナノ技術ぐらいでした。その中で、ワ
イドサイズのデジタル印刷機が目玉で
あったことは間違いないようです。

今回、LANDAとの提携を発表した
小森、ハイデル、マンローランドに
は、デジタル印刷機の提携先がすで
にあります。小森はコニカ、ハイデルは
リコー、マンローランドはオセ（キャ
ノン）と提携しており、LANDAとの提
携で3社がどのような体制になるのか、
既存の提携先との体制は未発表です。

いずれにしても、今回のdrupa2012
でデジタル印刷機の普及が進むのは間

違いないと思います。ただ、LANDAが
これからどのように市場をかき回して
いくのか、注意深く見ていく必要があ
ります。

ハイデル、コダック、マンローラン
ドなど、不安な情報を聞いていたので、
drupaではどのようなスタイルで登場
しているのか、大変興味を持ちました。
ところが、事前の情報とは裏腹に、そ
のような気配は一切感じさせない展示
内容に驚きました。出展面積は大きく、
大勢の人がブースで製品を見ている状
況は、一体あの情報は何であったのか
と思うぐらいでした。

いま一つ、事前に中国勢の出展社数
や来場者数などを聞いていますと、こ
のdrupaは、中国の勢いが席卷してい
るのか、との印象を持って視察をしま
したが、実際には中国勢のブースを見
ている来場者は思ったより少ない、と
いうのが印象でした。これは、中国出
展社のほとんどが既存技術の機器を安
価に売っているというだけのことで、
新しいことを探しに来ている来場者
には、興味がないようでした。

倒産したシノハラ印刷機が出展さ
れていました。中国の企業に今年の2
月に買収されたとのこと。設計は
静岡で行っているとのことでしたが、
完全な中国企業となったシノハラが、
再度、日本で展開するのは難しいの
ではないかと思いました。中国ブラン
ドの印刷機は、日本以外の国へ販売す
るものと思われます。

日本のメーカーの出展者数が少ない
イメージでしたが、実際には日本メー
カーの出展社面積で考えると上位にな
ると思います。海外の子会社が出展申
し込みを行うと、申し込みを行った子
会社の国が登録になるようで、実際
のところ日本は、drupaでは重要な位
置を占めているように思えました。

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市長区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0566) 28-2049

■印刷業界の化学物質による健康障害防止対策の実施

日印産連内に「労働衛生協議会」の設置を決定

(社)日本印刷産業連合会(足立直樹会長)は、印刷会社従業員の労働環境をさらに改善し、「化学物質による健康障害防止対策の取り組み」の強化を図るため、新たに「労働衛生協議会」を設立することを機関決定した。

日印産連では、校正印刷会社従業員の胆管ガン発生問題の報道があったあと、予防的観点から会員団体、会員企業に対し健康障害防止対策を周知し、実態調査を実施してきた。今般、さらに印刷業界をあげてこれに対応するため、学識経験者、労働安全専門家、印刷関連業界団体代表、印刷資材団体・メーカーで構成する「労働衛生協議会」を設立し、印刷業界全体の「化学物質による健康障害防止対策の取り組み」の強化を図っていく。

この「労働衛生協議会」では、印刷関連各事業所単位での健康障害防止策の再確認と実施の徹底を目的として、労働安全衛生法などの遵法指導並びに化学物質取り扱いに関する周知徹底などを行なうため、説明会の開催、周知パンフレットの作成・配布を行なうとともに、行政機関・関係機関との連携を図りつつ、印刷会社従業員や社会の皆様に対する情報提供を行なう。第1回協議会は7月上旬に開催し、今後のスケジュールなど詳細を決定していく。



記念品を手にする桜井会長

ナー・ドーンシャイト氏が桜井のブースを訪れ、感謝の意を伝え、記念品(写真入特製ワイン)を贈呈した。桜井美国会長は「変遷が激しい当業界において中規模企業である弊社がこのような国際展示会に絶え間なく足跡を刻んでいくことができたのは、皆様のご支援の賜物であり、感謝を申しあげるとともに、日本の印刷機メーカーとして誇りに思える快挙であると自負しております」とコメントしている。

■「積算資料 印刷料金」刊行にあたり印刷物制作費の見積りに関する調査実施協力をお願い

一般財団法人経済調査会では、毎年「積算資料 印刷料金」を制作・出版している。この度、2013年版(2013年2月発行)の刊行にあたり、印刷市場の最新市場動向を把握すべき、印刷物制作費の見積りに関するアンケート調査を依頼している。

このアンケートは、愛印工組の組合員の中から任意に選定した企業に行なっているもので、調査資料は6月27日付けで配布されている。アンケートが届いたら是非協力をお願い致します。

なお、経済調査会では、返送された個々の調査票および見積書書式は、内部資料として当会が責任を持って取り扱い、外部には一切公表はしない。ま

訃報

総合ビジネス(株)安藤鉄一氏は5月27日逝去された。享年76歳。通夜は5月29日、告別式は5月30日名古屋市千種区の「吹上愛昇殿」において執り行われた。ご冥福をお祈りいたします。

た、回答した企業に対しては、後日、調査結果の概要として「集計結果ダイジェット版」を送呈する、としている。

■drupa2012の話題

桜井がドルッパ組織委員から記念品

(株)桜井グラフィックシステムズは、5月にドイツで開催された「drupa2012」において、drupa12回(50年間)連続出展に対して、ドルッパ組織委員会から感謝の意が表され、記念品が贈呈された。

同社は、1962年に初めて出展して以来、今回が50年目にあたり、この間連続して12回の出展を果たしてきた。メッセデュッセルドルフの会長ウエル

事務局だより

■紫陽花の花が盛りの入梅に、台風がきたのには驚かされました。本格的な台風シーズンまでに何個日本を襲うのか今から心配です。■中部地区印刷協議会(三重県会議)が開かれましたので、その詳細を掲載しました。新しい事業も報告されていますので、期待したいものです。分科会報告は次号に掲載予定をしております。■愛知県より、メンタルヘルス対策取組支援事業を受託しました。詳細は次号(8月号)でご案内しますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

あいの印刷

No.488

平成24年7月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

TEL <052> 962-5771

FAX <052> 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp